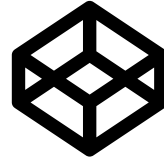


地域イノベーションLAB 中央区地域活性化事業



中間発表

大森町向台自治会 ～デジタルと支え合いでつながる地域へ～

発表者：大森町向台自治会 会長 古市悠己

2025年11月5日



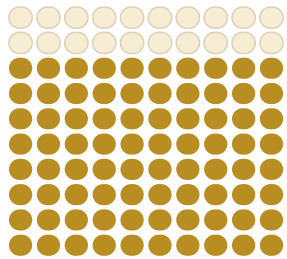
OMORICHO MUKOUDAI
COMMUNITY ASSOCIATION

—— 大森町向台自治会 ——

地域課題とプロジェクトの目的

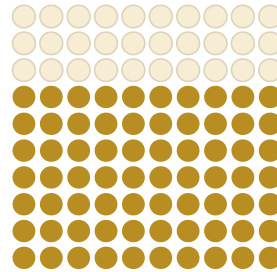
高齢化の進行と地域への関心低下という二重の課題に直面しています。
アンケート調査から明らかになった実態をもとに、私たちは「世代を超えて支え合える地域づくり」を目指しています。

住民意識調査の結果



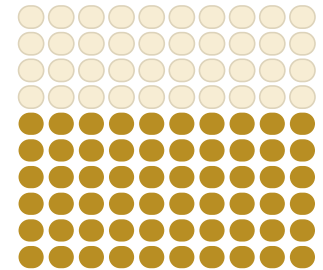
80%

自治会活動を知らない住民
(情報発信の課題が浮き彫りに)



70%

自治会に関心がない住民
(参加ハードルの高さを実感)



60%

支援不足を感じる高齢者
(日常生活の負担軽減が急務)

プロジェクトの3つの目的



世代間交流の機会創出

地域のつながりを再構築



高齢者の生活利便性向上

相互扶助の仕組みづくり



自治会活動の持続可能化

次世代の担い手確保

3つの柱で進める地域イノベーション



情報共有のデジタル化 BAND導入による効率化

紙媒体からデジタルへ。即時性と双方向性を実現し、地域情報の共有を活性化します。



集金・決済の効率化 PayPayで透明性向上

現金管理の負担を削減。安全で透明性の高い会計処理を実現します。



高齢者支援の仕組み化 信頼でつながる支援体制

地域の人材資源を活用し、気軽に頼める支え合いの文化を育てます。



実施報告①：BAND導入による情報共有改善

コスト削減と効果的な情報発信

当初検討していた公式LINEではなく、**無料で利用できるBAND**を採用しました。
地域PTAで活用している保護者からの提案により実現し、年間約6万円のコスト削減に成功。
費用の最適化を実行し、高齢者支援に充足させた。



■ 登録済 ■ 未登録

01

公式LINEからBANDへ変更

経費の最適化を実現、109世帯72%の登録を達成

02

BAND説明会を開催

導入時に住民向け説明会を2回開催
保護者・高齢者にもわかりやすく案内
•登録サポートを実施し、参加率向上に成功

03

電子回覧版を実現

自治会スケジュール共有が可能に
イベント写真や報告をリアルタイムで共有
掲示板・回覧板のデジタル化が定着



実施報告①：BAND導入による情報共有改善

BAND Band、ページ、投稿を検索 新着

投稿 アルバム 予定 添付一覧 メンバー



OMORICHO MUKOUDAI
COMMUNITY ASSOCIATION
— 大森町向台自治会 —

向台自治会

メンバー 118 · + 招待

Band概要設定 >

投稿

このBand名と内容は非公開です。メンバーは招待を通してのみ参加出来ます。

目標のレコーディングを設定する

Band設定

アルバム

写真登録

全ての写真 300 >
2025年10月5日に最終更新されました



リアクションが付いた写真 >

BAND Band、ページ、投稿を検索 新着

投稿 アルバム 予定 添付一覧 メンバー

● グリー... ● 社協



OMORICHO MUKOUDAI
COMMUNITY ASSOCIATION
— 大森町向台自治会 —

向台自治会

メンバー 118 · + 招待

Band概要設定 >

投稿

このBand名と内容は非公開です。メンバーは招待を通してのみ参加出来ます。

目標のレコーディングを設定する

Band設定

5 日曜日 **大森小地区体育祭**
9:00 - 14:00 · 📍 千葉市立大森小学校
参加する 17 · 参加しない 24
● 基本予定表 · 会長 古市悠己

13 月曜日 **社会福祉協議会**
18:30 - 20:00
● 役員専用 · 会長 古市悠己 · 🔒

スポーツの日 📅

26 日曜日 **グリーンベルト花の植栽**
11:00
● 基本予定表 · 会長 古市悠己

28 火曜日 **社協**
10:00 - 12:00
● 役員専用 · 会長 古市悠己

実施報告②：PayPay導入

- 1 2025年7月
PayPay審査通過
自治会としての運用準備開始
- 1 2025年8月
向台まつりで初運用
正式に運用開始
- 1 2026年4月
PayPayを会費回収に実装
町会費徴収へ展開し、定期的な運用フェーズへ

24 住民が主体的に運営に関与



PayPay導入をきっかけに、イベントを開催したことで、**地域の協力体制と参加意識が大きく高まりました。**デジタル化が、むしろ人と人とのつながりを深める結果となっています。

実施報告③：高齢者支援の仕組みづくり

今年度は自治会所属の住民の方々に“認知”して頂くことをテーマに無料の庭木・草刈り支援からスタート。

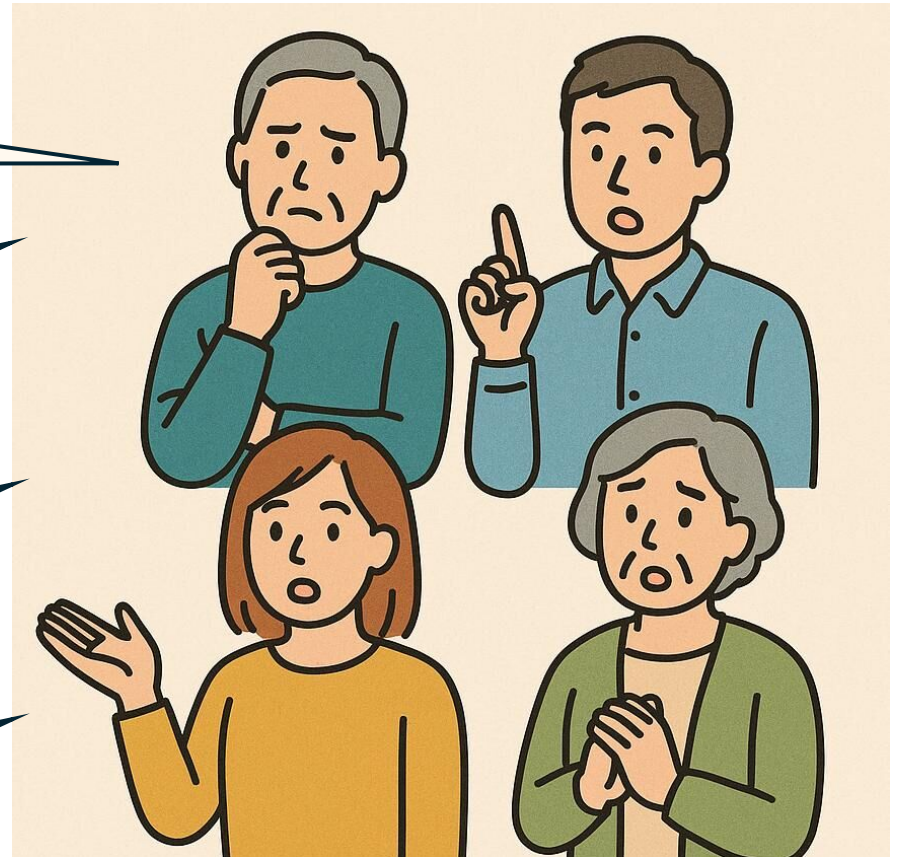
「自治会ならではの信頼感」を活かし気軽に頼める関係性の構築する。

「業者は高すぎて諦めていた」

「どこに頼めばいいか分からなかった」

自分でやろうとしていたが諦めていた。

自治会だと安心して頼めるので助かる



実施報告③：高齢者支援の仕組みづくり



実施報告③：高齢者支援の仕組みづくり

3年計画で育てる支え合いの文化



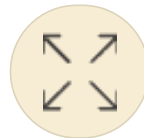
1年目（現在）：周知・信頼構築

無料サービスで認知度向上と信頼関係の基盤づくり



2年目：有料化への移行

安価な料金設定で気軽に依頼できる仕組みを確立



3年目：メニュー拡大

成果と今後の方向性

半年間の主な成果

情報共有の活性化

BAND登録率72%を達成し、リアルタイムな情報発信が実現。回覧板では届かなかった層にもアプローチできています。

会計業務の効率化

PayPay導入により透明性と安全性が向上。役員・班長の業務負担が大幅に軽減を目指す。

信頼関係の深化

高齢者支援を通じて住民同士のつながりが強化。「自治会に頼れる」という安心感が広がっています。



今後の課題と展望

課題

- 高齢者のデジタルリテラシー支援体制の強化
- 未登録世帯への継続的な周知活動
- 支援サービスの持続可能な運営モデル構築

展望

- BAND・PayPay・高齢者支援の3つの取組を有機的に連動させ、「デジタルと支え合いが両立する地域モデル」を確立します。
- 効率化で生まれた時間と資源を、人と人とのつながりに再投資する好循環を目指します。

まとめ

地域とともに、次の一歩へ

つながり方が変わった

デジタルツールの導入により、情報共有のスピードと範囲が向上。世代を超えたコミュニケーションが生まれています。

住民が主体になった

PayPay運用でのボランティア参加や、高齢者支援への協力など、受け身ではなく「自分たちの地域」として関わる住民が増えています。

デジタル化は手段であり、目的は「人と人とのつながり」です。

技術を活用して生まれた余裕を、温かい支え合いに変えていく—それが、大森町向台自治会が目指す地域イノベーションの姿です。

この半年間で築いた基盤をもとに、より多くの住民が参加し、支え合える地域コミュニティの実現に向けて、引き続き取り組んでまいります。

感謝とこれから

中央区地域活性化事業のご支援、そして何より住民の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。



ご清聴ありがとうございました

大森町向台自治会

地域イノベーションLAB

デジタルと支え合いでつながる地域へ

お問い合わせ

大森町向台自治会会長：古市悠己

✉ omoricho.mukoudai@gmail.com

今後のスケジュール

- 2025年4月：町会費PayPay徴収開始
- 2025年度：高齢者支援サービス拡充
- 2026年度：有料サービス本格展開

本プロジェクトに関するご質問やご意見がございましたら、お気軽に自治会までお寄せください。